

本科 2 期 12 月度

解答

Z会東大進学教室

高 1 難関大英語 S

高 1 難関大英語



24章 仮定法4

要点

■ 確認問題

解答

- (1) Had it not been for your help, I wouldn't have been able to go to the hotel.
「もしあなたの助けがなければ、私はそのホテルに辿り着くことができなかっただろうに。」
- (2) Were it not for her bad financial situation, she would have no worries.
「ひどい財政状況がなければ、彼女には何の心配事もないだろう。」

問題

【1】

解答・解説

- (1) I had enough time [仮定法過去の文であり、潜んでいる意味は「十分な時間がない」である。]
- (2) I had had enough time ; I had enough time [(1) を仮定法過去完了にしたもの。潜んでいる意味は「十分な時間がなかった」である。]

【2】

解答・解説

- (1) (b) Had ; could have told (もしそのことを知っていたら、あなたに教えることができただろう。) [仮定法過去完了 — 条件節を導く if の省略 (S V (助動詞) が倒置。)]
- (2) (a) for (b) without (空気と水がなければ、どんな生物も存在することはできないだろう。) [仮定法過去 — without の句が仮定の条件を表す。]
- without ~ = if it were not [had not been] for ~
- (3) (b) If it had not been (資金がなかったら、その会社は倒産していたかもしれない。) [仮定法過去完了 — But for の句が仮定の条件を表す。]
- but for ~ = if it were not [had not been] for ~
- (4) (b) Were (あなたの立場なら、私は別の行動をとるだろう。) [仮定法過去 — 条件節を導く if の省略 (S V (助動詞) が倒置。) in your place が仮定の条件を表す。]
- (5) (a) With (b) had been (もう少し注意していたら、危険を避けることができただろう。) [仮定法過去完了 — with の句が条件を表す。]
- (6) (b) were [was] not busy (今日は忙しい。そうでなければ、必ずあなたのパーティーに行くだろう。) [仮定法過去 — otherwise が仮定の条件を表す。]
- (7) (b) were [was] seen (離れて見れば、彼は西欧人として通用するかもしれない。) [仮定法過去 — 分詞構文が仮定の条件を表す。]
- at a distance 「やや離れた所で」
- pass for ~ 「～として通用する」
- (8) (b) was not ((その時) 健康だったらよかったのに。)
- wish + 仮定法過去完了 [過去の事実に反する願望を表す。]
- (9) (a) for ; to (b) went (幼児はもう寝る時間だ。)
- it is time + 仮定法過去 「もう…する時間だ」

【3】

解答・解説

- (1) 君の上司は本当の暴君のようだ。僕だったら、別の仕事を探すだろうね。
- sound like ~ 「～のように思われる、聞こえる」
- look for ~ 「～を探す、～を得ようと求める」

(2) その工場は今にも倒産しそうだった。もし倒産していたら、何百人もの人々が生計を失っていただろう。

○ be on the verge of ~ 「今にも～しようとしている、～の瀬戸際にある」

e.g. She was on the verge of tears. (彼女は今にも泣き出しそうだった。)

○ go out of business 「破産する、廃業する」

○ livelihood 「暮らし、生計」

(3) 世界的な核戦争が起こるようなことが万一あるとすれば、我々が知っているような地球上の生命は永遠に終わってしまうだろうと予言している学者もいる。

○ global 「地球の、世界的な」

e.g. global war (世界戦争), global warming (地球温暖化)

○ nuclear war 「核戦争」

○ predict ~ 「～と予言する」

○ life on earth as we know it : as は直前の名詞を制限する接続詞。it は life を指す。

○ end 「終わる、最後を遂げる」

(4) 会議に行ってよかったと思う。そこに行っていなかったら、私の提案はたぶん受け入れられなかっただろう。

○ proposal 「提案、計画」

○ accept ~ 「～を受け入れる」

【4】

A.

解答例

(1) They [Tigers] live in India and most of the countries of Southeast Asia.

(2) They like countries where there are forests[jungles] and grassy plains[grasslands], because they can find [there are] many [plenty of] other animals that they hunt for food in such places [forests, jungles and grassy plains, grasslands].

(3) (It is hard to see the tiger in the jungle,) Because its coat mixes well into (the) patches of sunlight and shadows.

(4) (This camouflage is useful to the tiger,) Because it makes the tiger hard to be seen by other animals (it hunts for food).

(5) They are strong and sharp.

(6) It sometimes [occasionally] eats cows.

(7) They like to rest in the long grass. When it is very hot, they like to rest by a river or in some wet ground.

(8) It is five or six feet long when fully grown.

(9) It uses its teeth and claws to defend itself.

解説

(1) 本文ℓ. 1に明記されている。

(2) 本文中には質問の「トラがどんな国が好きか」の直接の答えとなる記述はないが、ど

ういうところに生息しているかは述べているのでそれを答えるべき。本文ℓ. 2 の where 以下がその理由にある。

- (3) 本文ℓ. 5 ~ 7 にトラがジャングルで目立たない理由が述べられている。
- (4) 本文ℓ. 9 の because 以下そのままでは質問の理由として不十分。camouflage のおかげで姿が見えにくいという点まで解答できるとよい。
- (5) 本文ℓ. 11 参照。
- (6) 本文ℓ. 12 ~ 13 参照。chief food をまず列記してから but it will also kill cows と説明を付け加えていることから、牛はいつも食べているものというより、時折食べるものだと解釈できる。
- (7) 本文ℓ. 15 ~ 17 参照。トラが休む場所の 2 種類が述べられている。
- (8) 本文ℓ. 20 参照。
- (9) 本文ℓ. 21 ~ 23 参照。attack と defend の意味を知っていれば、ここが質問の答えになる箇所だとわかるはず。

B.

解答

- (1) (c) (2) (a) (3) (c) (4) (c) (5) (a) (6) (c)
- (7) (d) (8) (b) (9) (a) (10) (c)

解説

- (1) (a) 谷, (b) 坂の多い土地, (d) 砂漠
- (2) (a) run after ~ 「～を追いかける, ～の跡を追う, ～を追跡する」
Ex. He who runs after two hares will catch neither.
(2) 兎を追う者は1兎をも得ず。)
- (3) branch は「枝」。(a) 木の根, (b) 木のてっぺん, (d) 木の下の方
- (4) (a) 四角, (b) 斑点, (d) マーク
- (5) seize は “If you seize something, you take hold of it quickly and firmly.” という意味を示す。
- (6) drag (引きずる) の類語には、このほか draw (引き寄せる), trail ((裾などを) 引きずる) などがある。
- (7) shelter = a place which provides protection from bad weather or danger
- (8) relative 「親戚, 身内」
- (9) (d) rise up 「起きる, 蜂起する」
- (10) defend の類語は protect, guard, save など。

C.

解答

- (1) (c) (2) (b) (3) (c) (4) (b)

解説

- (1) ℓ. 3 ~ 7 参照。
- (2) 本文ℓ. 13 ~ 15 参照。シカやウシを安全な場所まで引っ張っていくことが述べられている。

(3) 本文ℓ. 15～17 参照。

(4) (a)と(c)は本文ℓ. 22～23 の it is not a very good climber と矛盾する。

全訳

トラはインドや大半の東南アジア諸国で見られる。トラは、食物を得るために狩る他の動物が豊富にいる森林や草原に生息している。動物園でトラを見たら、毛皮が鮮やかな色彩なので見つかりやすいと思うかもしれない。しかしトラが生活しているジャングルや草原でトラを見るのは困難である。日光が木の葉や枝の間から差し込んで、明るい光と影のまだら模様ができる。トラの濃い縞のついた黄金色の毛皮はこの日光と影のまだらに非常によくなじむため、その姿は簡単には見えないのである。トラが森林の背丈の高い草の間を歩いているときも、姿を見るのは難しい。というのは、毛の色が黄味がかった草の葉と濃い影のまだら模様と同じだからである。

この言わばカモフラージュは、非常に重要である。トラは他の動物をつかまえて食物とする捕食動物だからである。トラがやってくるのが他の動物に見えたら、彼らはすばやく逃げてしまうだろう。トラは力強く鋭い歯を持ち、その歯を使って、とらえた動物をつかみ、食べる。シカ、野生のブタ、サル、その他小動物を主な食物とするトラだが、ウシを殺すこともある。トラは力が強く、シカやウシを殺した場合は、少しばかり低木が茂った隠れ場所まで数百ヤードも死んだ動物を引きずっていくこともよくある。そこではゆっくりと獲物にありつけるわけである。トラが狩りをして食べるのは普通夜間で、日中は背の高い草むらに隠れ、寝そべって休んでいる。トラは高温が苦手なので、非常に暑いときは川のそばや地面が湿ったところに休息場所を見つける。

トラは川で水を飲んでいる間も注意深く危険を見張っている。泳ぎは得意なので、流れの速い川でも簡単に渡ることができる。トラは敵や森林火災などの危険から逃れるために川によく飛び込む。成長が終わると体長5～6 フィートになるトラは、私たち人間がペットとして家で飼うネコの大型の仲間である。トラは襲われると歯とつめを使って身を守るが、ネコと違って、ものに登るのはあまりうまくない。

注

ℓ. 2 ○ plains 「平原、平地」〔複数形で使われることが多い。ℓ. 4 の grassland はこの grassy plains の言い換え。〕

◇ where there are plenty of other animals for them to hunt for food.

○ 関係副詞 where の後に there are (is) が続く表現はよく使われる。

Ex. Where there's smoke, there is fire. (火のないところに煙はたたぬ。)

○ hunt 「狩る」〔for ~ 「~を求めて」〕

e.g. hunt a job (職を探す), hunt for (~を捜す)

ℓ. 5 ○ patch 「(色彩などが周囲と違う) 部分、斑点」

ℓ. 8 ○ blade 「(細長い草の) 葉」〔leaf は一般に「木の葉」を指す。〕

ℓ. 9 ○ camouflage 「カモフラージュ、偽装」

ℓ. 10 ○ If the animals could see a tiger coming, they would quickly escape. : 仮定法過去の文。

ℓ. 14 ○ in peace = peacefully

- ℓ. 15 ◇ they lie resting, hidden in the long grass
- lie + C (形容詞・分詞など) 「～の状態にある, ～のままである」 [Cの部分に
重点が置かれる。]
- ℓ. 18 ○ watch for ~ 「～を監視する, 警戒する」
- ℓ. 22 ○ claw 「かぎつめ」
- unlike ~ 「～とは違って」

添削課題

【1】

解答・解説

- (1) If I had known [仮定法過去完了]
Had I known [上記の if が省略された倒置形。]
- (2) If I were [was] you [仮定法過去]
Were I you [上記の if が省略された倒置形。]
- (3) were to [仮定法過去 — 実現の可能性の低い未来の仮定を表す。]
Were I to [上記の if が省略された倒置形。]
- (4) If I had [仮定法過去]
- (5) If he had taken [followed] [条件節 — 仮定法過去完了；帰結節 — 仮定法過去]
 - take [follow] one's advice 「忠告に従う」
- (6) Should you decide [If you should decide の if が省略された倒置形。]
 - If S should … 「万一…ならば」

【2】

解答・解説

- (1) ア (「君の弟は君があげた新しいペンを本当になくしたの。」「うん、 そうなんだ。自分の物をもっと大切にしてくれるといいんだけど。」) [仮定法過去]
- (2) イ (僕はとても疲れていたんだ。そうでなければ、 昨夜君と一緒にパーティーに行っていたのだが。) [仮定法過去完了]
 - otherwise 「もしさうでなければ」 [この場合は If I had not been tired に相当。]
- (3) イ (私はメアリーに路上の空き缶集めに一緒に来るようになると提案したが、 彼女は忙しすぎて無理だと言った。) [suggest など「提案・要求」を表す動詞に続く that 節内で用いられる仮定法現在。that she should come とすることもできる。]
- (4) ウ (もう 11 時だ。君はもう寝てもいい頃だ。) [仮定法過去]
 - It is (high : about) time + S + 仮定法過去 … 「もう…してもいい頃だ」

25章 接読詞

要点

■ 確認問題1

解答

- (1) よく眠りなさい、そうすれば回復するでしょう。
(2) 彼はあなたのためにはそれをしてのではなく、自分のためにやった。

■ 確認問題2

解答

- (1) 雨が降るといけないので、急ぎなさい。
(2) 彼女は再度遅れないように、タクシーに乗った。

■ 確認問題3

解答

- (1) 彼女が家を出るや否やドアベルが鳴った。
(2) その試験が終わったらすぐに実家に帰るつもりです。

■ 確認問題4

解答

今や子供たちも成長したので、私たちはどこにでも行けることを私は望んでいる。

■ 確認問題5

解答

a hard worker

■ 確認問題6

解答

- (1) 終電に乗り遅れたらどうなるでしょう。
(2) 日暮れ前に戻ってくるという条件でなら外出してもいいですよ。

■ 確認問題7

解答

- (1) 彼はたくさん飲んだけれども、もう1杯ワインを注文した。
(2) どんなに小さくとも自分の家を持ちたい。

■ 確認問題8

解答

- (1) 彼女はその犬がかみつくのではないかと恐れた。
- (2) 私たちは、彼は友達ではないが、彼女は友達であると結論づけた。

問題

【1】

解答・解説

- (1) and (その本を買いに行ってくれないか。)
○ go and do 「…しに行く」
- (2) but (私が彼女を好きなのは、彼女が金持ちだからではなく、正直だからである。)
○ not ~ but … 「～ではなく…」
- (3) or (上着を着なさい、さもないと風邪をひくよ。)
○ 命令文, or (else) … 「～しなさい、さもないと…」
- (4) nor (ロドニーもレニータも泳げない。)
○ neither ~ nor … 「～も…もない」
- (5) because (私たちが外に長くいなかったのはとても寒かったからです。)
○ it is because … that ~ 「～なのは…だからである」〔強調構文〕〔because で導かれる節は強調することができるが, as ; since は不可。〕
- (6) By the time (君がこの手紙を受け取る頃までには、僕はハワイでのクリスマス休暇から戻ってきているだろう。) [by the time からコンマまでは時を表す副詞節なので、未來の内容であっても get は現在形で書いていることに注意。]
- (7) Now that (彼はもう 60 歳を越えているので、退職するでしょう。)
○ now (that) ~ 「今はもう～だから、～である以上は」〔理由〕
- (8) unless (すぐに出発しないと間に合わないでしょう。)
○ unless ~ 「～しない限り、～する場合を除いて」〔条件〕
○ at once 「ただちに」
- (9) as long as (静かにしている限り、ここにいてもいいですよ。)
○ as long as ~ 「～する限り、～する間は」〔時 + 条件〕
- (10) As far as (見渡す限り、すべてが白かった。)
○ as far as ~ 「～する限りでは」〔制限・範囲〕

【2】

解答・解説

- (1) that (彼が死んでいることは確かである。)
○ It is certain that ~ 「～は確かである」〔形式主語 It を受ける名詞節を導く that。〕
- (2) if [whether] (彼が実際にこの小説を書いたかどうかは疑わしい。) [doubt の次に来る接続詞は一般に肯定文では if ; whether を用いる。]
- (3) that (ボブが私を愛していることに疑いはない。) [doubt の次に来る接続詞は一般に否定文・疑問文では that を用いる。]
- (4) whether (問題は彼が成功するか失敗するかである。) [or があるので「…かどうか」という意味になり、また補語の節を導くので whether にする (if はまれ。)]

(5) that (誰も彼が無罪だという事実を信じなかつた。)

- the fact that ~ 「～という事実」〔同格の名詞節を導く that〕

【3】

解答・解説

(1) (a) 雨が降っている間は、私は中にいた。

- while 「～する間は」

(b) 私はそのカバンの形は気に入っているが、その色が気にくわない。

- while 「～なのに、しかし (一方)」

(2) (a) 我々は健康を損ねて初めてその価値を知る。

- not ~ until … 「…するまで～しない、…して初めて～する」

(b) 彼は諦めずにどんどん歩いて行き、そしてついに小さな泉を見つけた。〔コンマの次の until は「～してついに」という継続的な意味を表す。〕

- give up …ing 「…するのを諦める」

- on and on 「引き続き、休まずに」

(3) (a) 彼が貧乏だったので、彼女は彼と結婚しなかつた。〔not は marry だけを否定する。〕

(b) 彼が金持ちだから彼女は彼と結婚したわけではない。〔not は not 以下全体を否定する。〕

(4) (a) もし [万一] 私が列車に乗り遅れたら、待たないで出発してください。

- in case ~ 「もし～なら」〔条件〕 (= if)

(b) 雪が降るかもしれない [雪が降った場合に備えて]、自分のセーターを持って行きなさい。

- in case ~ 「～するといけないから、～の場合に備えて」〔目的〕 [in case が導く節では should を用いるか、直説法にする。]

(5) (a) 彼は私たちが彼の言うことを理解できるように易しい英語で話す。

- so that ~ 「～するために」〔目的〕

(b) 彼は易しい英語で話すので、私たちは彼の言うことを理解できる。

- ~, so that … 「~, それで…」〔結果〕

(6) (a) その問題は重要なだろうか、それとも重要ではないのだろうか。

- whether ~ or … 〔名詞節〕

(b) その問題が重要であろうと重要でなかろうと君はそれを解決しなければならない。

- whether ~ or … 〔讓歩の副詞節〕

(7) (a) 私は切手をまったく持っていないので、手紙を郵送できない。

- as ~ 「～なので」〔理由の接続詞〕

(b) 教わる通りに踊りなさい。

- as ~ 「～のように、～の通りに」〔様態の接続詞〕

【4】

解答

我々が田舎に行くのは、騒音から逃れるためではなく、違った種類の物音を求めるためだ。
5月の田舎の庭に座ってみなさい、そうすればその物音が絶えないことに気づくだろう。

【5】

解答

- (1) 「全訳」下線部(1)～(3)参照。 (2) 余地 [場所] (3) bored
(4) イ

解説

(1)

- (1) ○ what to do 「何を…すべきか」
○ , finally putting ~ 「分詞構文」
○ put on ~ 「～を着る」
○ blouse 「ブラウス (女性用の上着)」

(2) Why not? には、①「どうしていけないのか。」②「もちろんですとも。」の2つの意味があるので注意が必要。本問では①。

- (3) ○ so miserable (that) she couldn't ~ : that が省略されてわかりにくいが、これは so ~ that … (あまりに～なので…) の構文。
○ miserable 「惨めな」

(2) room には「部屋」以外に「場所、空間、余地」という意味があるので覚えておこう。

(3) bore は「～を退屈させる」という意味。文脈から、He (= Robert) は「退屈させられた」と考えられるので、bored に変化させる。

(4) 下線部(6)では「どんなチーズ?」と種類を問うているわけではなく、「チーズ?」「どこにチーズがあるの?」とミミを気遣った言葉なので、正解はイ。

全訳

「出かけるわ」とミミは隣にある実家である食品店の中にいる母を呼びかけた。今日はミミの初デートで、ロバート・ローヴァーがミミをダンスパーティーに連れて行くために着いたところだった。こうなるなんてミミにはほとんど信じられなかった。(1)長いこと待っている間、彼女は何を着ていこうかと何度も迷っていたが、結局は一番好きなブラウスにした。とうとうロバートが現れた。彼女には彼は格好よく見えた。髪はきちんとくしの目が入り、前には見たことのない黄色いセーターを着ていた。ミミは素敵だと思った。

ドアから外へ出た時、ミミの母親が店から不意に出てきて、ロバートに挨拶をし、それから白い紙で包んだものをミミの手に持たせた。

「ミミ、サリー・トンプソンさんにリンバーガーチーズをお願いね。今日、リンバーガーチーズの輸入品が1ケース入ったのよ。今夜、ミミが配達するって、サリーに約束したのよね。」

「今夜ですって!」とミミは言い、チーズを見つめた。(2)「明日じゃダメなの?」

「悪いけどサリーに約束したからね。2人で楽しんでらっしゃい。」と母は言った。

「あーあ、ロバート、行きましょう。」とミミは言った。

自分の初デート、ロバート・ローヴァーと初デートなのに、大きな、臭い、うっとうしいチーズの包みを押しつけられたのだった！ミミは包みのことを忘れようとした。今、ロバート・ローヴァーとダンスパーティーに行こうとしているのに、とミミは心の中で思った。彼女はチラッと彼の方を見た。

「そのチーズ匂うよ。」と彼は言った。

彼女は彼からできるだけ手を離してチーズを持っていたが、においては彼女の腕をはい上がってくるように思えた。

2人は、モンカーム通りへ出てきた。ミミは家の番号は知らなかったが、前に1度通り過ぎたことがあったのでその家はわかっていたと思っていた。「あっ、ここだわ。」彼女はベルを鳴らしたが、返事がなかった。その時彼女はベルの下の名前がトンプソンでないのに気づいた。間違った家に来たのだった。「ああ、参ったなあ」と彼女は思った。彼女はチーズをポケットにストンと入れてロバートのところへ戻った。

「違う家だったわ。確かにあそこに住んでいると思ったのに。」と彼女は言った。

「次は何だっけ？」とロバートが聞いた。

ミミは唇を噛んだ。今となってはチーズを持って家へ帰ることはできなかった。チーズを持ってダンスパーティーへ行かなければならぬだろう。「行きましょう」と彼女は言った。
(3)あまりにも惨めな気持ちだったので、他に言うことも思い浮かべられなかった。そして、ミミとロバートはその後ずっと沈黙したまま歩いた。その沈黙はチーズの悪臭と同じぐらい重苦しいものだった。

2人がダンスパーティーに着いた時、会場は人で一杯でコートを掛ける場所もなかった。ミミは手を洗いたかったが、ロバートはそのままミミをダンスフロアまで連れて行った。ミミは、ロバートがスズランのように、よい匂いがするのに気づいた。自分はリンバーガー・チーズの匂いがするのに、である。

ミミは心を込めてダンスをした。ロバートの眼は閉じられていた。多分、自分と自分の匂いを忘れようとしているのだわと、彼女は思った。

しばらくして、2人は軽食カウンターに行った。飲み物を飲んでいる間、ロバートはミミの頭越しに（何かを）見つめていた。退屈しているんだわ、とミミは思った。そう、今夜は悲惨だった。その頃までには、ミミのポケットから立ち上る強烈な匂いがひどくなりつつあった。

赤毛の男の子が立ち止まってロバートに話し掛けた。「誰がここで靴を脱いだんだ？」とその子は聞いた。

ミミの気持ちは沈んだ。

「何かが匂っている」と赤毛の男の子は言った。

ミミは息を詰めた。彼女はロバートを見られなかった。

「僕には、匂わないけど。ミミ、匂う？」とロバートは言った。

一瞬、ミミは聞き間違えたかと思った。ロバートは、意味ありげにミミに微笑んだ。彼女は驚いてロバートを見つめた。「いいえ、私には全然何も匂わないわ」と彼女はどうにか言うことができた。

「気のせいだよ」とロバートはその男の子に言った。

ミミは自分の耳を疑った。それから彼女はどっと吹き出した。

すごい！ ロバートは私の味方をしてくれているんだわ。すばらしいわ。突如、チーズは2人の秘密になったのだった。

ミミとロバートがダンスパーティーから帰る時、通りは静かだった。2人は、ダンスの伴奏の曲の1つをハミングしながら、寄り添って歩いた。月はもう空高く、薄く細くなり、2人の頭上で、心地よい舟のように浮かんでいた。

「チーズのことごめんね」とミミは言った。

「チーズって？ どんなチーズ？」とロバートは微笑んだ。

注.....

- l. 2 ○ a dance 「ダンスパーティー」
- l. 5 ○ comb ~ 「～をくしでとかす」
- l. 7 ○ step out of the door 「ドアから去る」
 - pop 「急に現れる」
- l. 8 ○ wrap ~ 「～を包む」
- l. 9 ○ Limburger cheese 「リンバーガーチーズ」 ベルギー産の代表的チーズ。
- l. 11 ○ echo 「(おうむ返しに繰り返して) 言う」
- l. 14 ○ be stuck with ~ 「～を押しつけられる」
- l. 15 ○ messy 「汚い」
- l. 16 ○ glance up at ~ 「～をチラッと見る」
- l. 18 ○ crawl up 「這いのぼる」
- l. 24 ○ rejoin 「戻る」
- l. 33 ○ lily of the valley 「スズラン」
- l. 35 ○ with all *one's* heart 「心を込めて」
- l. 37 ○ after a while 「しばらくして」
 - snack bar 「軽食カウンター」
- l. 38 ○ disaster 「悲惨」
- l. 40 ○ redheaded 「赤毛の」
 - take off ~ 「～を脱ぐ」
- l. 44 ○ hold *one's* breath 「息を詰める、固唾を飲む」
- l. 46 ○ in a special way 「特別に、意味ありげに」 ※ way の意味に注意。
- l. 47 ○ manage to do 「何とか…することができる」
- l. 49 ○ burst out …ing 「突然…し始める」
- l. 50 ○ stick up for ~ 「～の味方をする」
- l. 53 ○ hum 「ハミングをする」
- l. 54 ○ ride 「(空に) 浮かぶ」

添削課題

【1】

解答・解説

- (1) 彼女は貧しいが、着物にはうるさい。
○形容詞 + as + S V 「Sは…ではあるが」〔讓歩〕、「Sは…なので」〔理由〕
○ be particular about ~ 「～にうるさい、～に几帳面な」
- (2) 彼は話しながら身震いした。
○ as ~ 「～しながら」〔時の接続詞〕
- (3) 子供の時、ボブはボストンに住んでいた。
○ as ~ 「～の時」〔時の前置詞〕
- (4) 暗くなるにつれて、寒くなった。
○ as ~ 「～につれて」〔比例の接続詞〕
- (5) 彼をあなたの夫として考えれば、彼は頼りになるとわかるでしょう。
○ as ~ 「～として」〔前置詞〕

【2】

解答

ローマ人がブリテン島〔英國〕を去った後に、多くの制度や考えが変えられたが、ロンドンを重要都市にしておこうという考えは残ったことに注目することは興味深い。それゆえ幾世紀にも渡って、ロンドンは世界第一の都市だと主張してきたのである。ロンドンがこのように主張するのは、その大きな面積と人口のためばかりでなく、財政、貿易、銀行業、海運業の国際的な中心地でもあるからである。

注

- observe that ~ 「～ということに気づく、注目する」
- the Romans 「ローマ人」
- as ~ 「～として」
- throughout 「①～のすみからすみまで ②～の間ずっと」
- claim to be ~ 「～であると主張する」
- foremost 「① 1番先の、主要な ② 主流を占める」
- commerce 「商業、貿易」

26章 否定

要点

■ 確認問題1

解答

- (1) 彼女はいつものようには私に話し掛けなかった。
- (2) いつものように彼女は私に話し掛けなかった。

■ 確認問題2

解答

It was so cold this afternoon that hardly anybody went swimming.

■ 確認問題3

解答

- (1) 輝くものがすべて金とは限らない。
- (2) 彼は彼女の両親のどちらも知らない。

■ 確認問題4

解答

- (1) あなたのことを愛していないとは言っていない。
- (2) その歌を聞くと必ず姉のことを思う。

■ 確認問題5

解答

- (1) 彼は笑いをこらえられなかった。
- (2) 家を買うのに注意しすぎることはない。

■ 確認問題6

解答

- (1) マイクは今日仕事がない。
- (2) 彼は嘘をつくようなことはしない。

■ 確認問題7

解答

- (1) それはジョークにすぎない。
- (2) 彼は決して愚かな人間ではない。

問題

【1】

解答・解説

- (1) イ (まったく同じ指紋は2つとないということは広く知られている。)
- no two ~ 「どんな2つの~も…ない」(全否定)
 - it is widely known that …の that が省略されている。
- (2) ウ (彼はオリンピックでメダルを取ったのだから、彼の息子がスポーツに秀でているのも少しも不思議ではない。)
- no wonder ~ 「～は少しも不思議ではない」 [= it is no wonder that ~]
- (3) イ (あなたの答えは私の質問とは関係がない。)
- have nothing to do with ~ 「～と関係がない」
- (4) ウ (私が手助けできることはあまりない。) [much は「多くのこと」の意味の代名詞。
not much は部分否定で「あまり～ない。」]
- (5) イ (我々は天候について不満を言うことはできるが、天候をコントロールすることはほとんどできない。) [準否定語の little (ほとんど…ない。)]
- (6) ア (彼は野生の動物を全然恐れていない。)
- not in the least 「少しも…ない」
- (7) イ (彼はいい奴だとわかっているが、それでもやはりこのような場合には彼を罰しなければならない。)
- none the less 「それでもやはり」 (= nonetheless ; nevertheless)
 - on ~ occasion 「～の場合」
- (8) ア (ジョージはその仕事のほとんどをやったが、すべてをやったわけではない。)
- not … all 「すべて…というわけではない」(部分否定)
- (9) イ (「ご両親と一緒に旅をしているのですか。」「いいえ、両親2人ともではありません。母だけです。」)
- not both 「両方ともではない」(部分否定)
- (10) ウ (「明日雨が降ると思いますか。」「いいえ、降らないと思います。」) [日本語と違つて、否定語は前に出すので、No, I don't think …となる。あとは、前文を受けて、it will rain tomorrow となるので、it willだけ残す。No, I don't think so. でも同じ意味。]

【2】

解答・解説

- (1) イ
- A 「ジェーンはいつも非常に役に立ってきた。トムはどうだい？」
- B 「ああ、彼はまったく役に立っていないね。」
- [he never has は he has never been very helpful を省略したもの。]

(2) ア

- A 「彼女は秘書ですか。それともタイピストですか。」
B 「どちらでもありません。彼女は帳簿係です。」
〔Neither. は She is neither a secretary nor a typist. の略。〕
○ bookkeeper 「簿記係、帳簿係」

(3) ア

- A 「あなたは最近キャサリンのことについて触れないが、まだ彼女に会っているの？」
B 「彼女はもう僕にとってはどうでもいいのさ。」
A 「だけど君たちはとても仲がよかったから、君たち2人がうらやましかったよ。」
〔対話の流れから、Bにはキャサリンともう会っていないことを意図する文句が来るので、アが正解。イ「彼女は今仕事で北海道のどこかにいる。」ウ「この授業に来る前に僕たちは会ったばかりだ。〕」

【3】

解答・解説

- (1) Not all Americans are for free trade. [every が不要]
○ not all ~ 「すべての～が…ではない」(部分否定)
○ be for ~ 「～に賛成である」(↔ be against ~)
○ free trade 「自由貿易」
- (2) You can never hurt others without hurting yourself. [without を追加]
○ never ~ without …ing 「…しないでは～しない、～すれば必ず…する」
○ others 「他人」
- (3) He is yet to get in touch with his mother. [to を追加]
○ be yet to do 「まだ…していない」
○ get in touch with ~ 「～と連絡をとる」
- (4) We often don't realize what is important to us until we lose it.
○ not ~ until … 「…するまで～しない、…して初めて～する」

【4】

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

ホームシックは船酔いにやや似ている。それにかかって初めて、それがどんなにひどいものかがわかる。そして実際にそれにかかると、まともに胃を突き上げ、死んでしまいたいと思うほどだ。唯一の慰めは、ホームシックも船酔いもすぐに治るということだ。

注

- a bit 「少し」
- like ~ 「～のような、～に似ている」
- not ~ till … 「…まで～ない、…して初めて～する」
- awful 「恐ろしい、ひどい」
- right : ここでは「まさしく、まともに」の意味。
- instantly 「即座に、すぐに」
- curable 「治療できる、治せる」

【5】

解答

例外はあるが、たいていの英国人は、見知らぬ人と個人の生活を論じ合うことはない。確かに、彼らの多くは親しい友達とさえも、個人的な問題を論じ合うことはないのだ。しかしこのことのいずれも、英国人が冷たく優しくないということでは決してない。それどころか、英国人は親しみやすく、よく助けてくれる。

注

- exception 「例外」
- indeed 「本当に、実際は、なるほど」
- none of ~ 「～のどれも…ない」
- mean that ~ 「～ということを意味する」
- far from ~ 「～どころか〔文頭で〕」

添削課題

【1】

解答

- (1) He is the last man to be influenced by power.
 - the last ~ to do 「決して…する～でない」
- (2) The salesclerk was anything but helpful.
 - anything but … 「少しも…でない」
- (3) None of us laughed at the sight.
 - none of ~ 「～のうち誰も（何も）…ない」

【2】

解答

少数の作家やテーマについて深く理解することは、多くの作家やテーマについて表面的な知識を得ることよりも有益である。ある物語の中に描かれた多くの要素は、初めてその話を読む時点でははっきりとわかることはほとんどない。

注

- than a superficial knowledge of many.
than a superficial knowledge of many *writers and many subjects.* が省略された形。
- superficial 「表面的な」 [a superficial knowledge ↔ a good understanding の文構造に注意。]
- seldom 「めったに～ない」 (= rarely) [usually や always と同様、頻度を表す副詞で、一般動詞の前、助動詞・be 動詞の直後に置く。]
- apparent 「明らかな」

E1TS/E1T
高1 難関大英語 S
高1 難関大英語



会員番号	
氏名	